



題字 廉隅 進

山久会・隠岐の島の旅

BN 530 磯崎 守弘

東京近郊組6人と佐賀・山口・岡山県からのメンバーとは隠岐の島空港で合流した。全員で9人。「やあーおーっ」で学生時代に戻る。中には卒業以来という者も。3泊4日の旅の始まりだ。台風5号の影響が心配されたが幸い最終日の雨だけだった。

島根半島北方約50kmの隠岐諸島は4島から成る。大きい順から行政支所のある隠岐の島・西ノ島・中ノ島（海士町）・知夫里島である。

初日は隠岐の島南端の空港からローソク島へ西海岸のスポットを巡りながら北上する。遊覧船でしか見ることが出来ない海上に浮かぶローソク島の先端に夕日が灯る頃合いに合わせて出港するも我々の小船は3トン。10倍位ある観光船に先を越されて順番が回ってきた時には太陽が雲隠れしローソクに火は灯らなかつた。夜の宴会は大いに盛り上がった。

第 57 号

明治大学体育会
ワンダーフォーゲル部
なため会会報



二日目隠岐の島からフェリーで中ノ島（海士町）の菱浦港へ。午前中観光スポットを巡り港の前に在る隠岐牛店で牛肉を堪能す。再び内航船で知夫里島へ。赤ハゲ展望所324.5mから約650万年前の火山活動によって出来た海のカルデラが一望できる。島の西海岸の「赤壁」の赤い色はマグマのしぶきが酸化したものだ。隠岐諸島は「大地・独自の生態系・人の営み」がユネスコ世界ジオパークに登録されている。再び海士町に船で戻り夜の「隠岐神



社参り」を。境内の水気の無い草木地に乱舞する「蚩」に感動。
三日目天気下り坂の為予定を早めてフェリーで西ノ島の別府港へ。国賀海岸の海拔257mの摩天崖から通天橋を牛馬がのんびり草を食む中、ゆっくり歩く予定が「下りの明治」を発揮。ガイドに速いと褒められチョツといい気分。昼食後、カルデラの中央火口丘と呼ばれる焼火山（452m）の中腹に建つ焼火神社へ。本殿は岩穴に建てられており航海安全の神として信仰され目印としても機能。

民宿みつけ島荘の海の幸料理に幸せいっぱい腹いっぱい。運転手兼ガイドの鏡谷さん知識豊富で歴史にも詳しい。「先生でもやっていたの?」の問いに鯨漁で世界を股に。仙台と東京に嫁いだ娘がいるとの事。夜中にトタンの屋根を打つ雨音に明日は傘かと眠り込む。

四日目雨の中、宿の車で別府港へ。高速船レインボージェットで隠岐の島西郷港へ。出雲空港へ帰る〇君と別れ8人で隠岐の島を東回り3時間30分の観光。中でも岩倉の乳房杉は雨に煙り幻想的だった。神社の御祭神が女神が男神かの判別の仕方も教わった。隠岐国分寺で今回の旅で初めて寺を見学する。隠岐の廃仏毀釈は極めて極端だったようだ。隠岐空港を午後発ち大阪伊丹空港着。西へ帰るU君S君京都に寄り道の〇君と別れ5人で羽田へ。東京は雨が上がっていた。島の移動が船便しかないのでは出発時間に追われた忙しい旅でした。

日程表	
6/8	羽田空港→伊丹空港→隠岐空港→隠岐の島観光・ローソク島遊覧
6/9	中之島(海士町)観光→知夫里島赤ハゲ山・赤壁→夜の隠岐神社参り
6/10	西ノ島・摩天崖→通天橋・焼火神社トレッキング
6/11	西ノ島別府港→隠岐の島西郷港→東回り3時間30分・隠岐空港→伊丹空港→羽田空港

奥倉 一 BN 558

同期9名で隠岐の島に6月8日から11日まで行ってきた。四つの島からなっている、後鳥羽上皇とか後醍醐天皇とか昔の話ではあるが、数字に追われて仕事をしているので昔の話を聞いているようで、懐かしかった。島には産業がなく過疎化が進み少子高齢化で人口が減少しているらしい。

佐藤 昭 BN 519

何処へ訪ねても感嘆ばかりで、安らぎをたっぷり味わったワンデリングでした。また訪ねたいところです!!

池田 陽一 BN 527

以前、内田康夫の「隠岐伝説」を読んで、一度隠岐の島へ行ってみたかったので、念願叶って今回来島することができ、楽しい4日間を過ごしました。4島の島々は山全体が放牧地で、牛・馬がのんびり草を食み、海岸線は切り立った断崖絶壁で、最高のロケーションでした。

上野 敬義 BN 551

2006年の四国、石鎚山から始まり、16回目を迎えるWで、初めて登りのない島巡りでした。西ノ島町での牛馬の群する360度の空間での散策、摩天崖の大絶壁は心躍らせる大自然の趣があり、とても思い出深いWとなりました。

鈴木 正彦 BN 532

山久会の仲間9名で、初めて隠岐諸島へ行ってきた。気心の知れた仲間達と行く旅は

いつも和気藹々で、とても楽しい。隠岐は本当に良いところだ。ユネスコ世界ジオパークに指定されている大自然は勿論のこと、歴史的にも島流しに遭った二人の天皇、後鳥羽上皇と後醍醐天皇を始め、多くの貴族たちが配流され、遠い昔に思いを馳せることができる。圧巻は、摩天崖から通天橋にかけての大絶壁だ。ガイドの話によると、日本人観光客より、フランス人を初めとする西欧人達に人気が高いとのこと。私が撮ってきたビデオを編集し、一杯やりながらの鑑賞会が楽しみだ。

小野 宗典 BN 546

梅雨空の出雲空港を飛び立った飛行機は30分の飛行で、夏空の広がる隠岐の島空港に無事着地。その3時間後同空港で本隊と合流、3泊4日の隠岐の島旅行はこうして始まった。卒業以来に再開した友もあり一瞬名前が浮かばない友もいたが、1台の観光タクシーに乗り込むと半世紀の時間を飛び越えて全員が学生時代に戻っていた。隠岐の島諸島は4島からなり、各々風土も歴史も異なり車窓に映る景観もまた各々違った風景が見られ、地元の新鮮な魚貝類を堪能した旅も、気が付けばあつという間に終わっていた。最終日私一人が西郷港で本隊と再会を約して別れ、再び出雲へ向けて機上の人となった。

曾我 昭則 BN 542

私にとって初めての隠岐島は、予想を遥かに超えて、素晴らしいところでした。世界ジオパークに指定された大自然と、流人の島と

しての歴史が、大きな感銘を与えてくれたし、同期の仲間たちとの友情と共に、感動の四日間でした。まだ、行ったことの無い人には、お薦めです。

小島 政男 BN 539

アーア良かった！

坂本清部長先生の思い出

BN 683 横手 一男

平成29年（2017）6月に逝去された先生をお悔やみ申し上げます。昭和59年4月から平成3年3月までワンダーフォーゲル部の第5代目の部長を務められました。鈴木監督の話によりますと、後任の部長を決めるのに大学関係者や体育課に相談したところ、候補にあがったのが商学部長の坂本先生でした。先生はいくつかの役職を持っていてご多忙のようでした。西主将（昭和59年度卒）が熱心に何回も是非ワンダーフォーゲル部の部長にお願いに伺いました。そこで商学部教授の田村敏夫先生が副部長として補佐していただけたということで承諾を得ました。

その後、顔合わせ会が神楽坂の「五十番」田中治子OG（昭和25年度短卒）が経営する場所で開催され、坂本先生、田村先生、鈴木監督、高野栄三OB（昭和27年度卒）兼子俊一OB（昭和27年度卒）田中OG、横手コーチが参加しました。坂本先生は多忙の中、部員総会は授業の合間を縫って出席されて「虚心坦懐」

の気持ちで接するという話でした。相模湖畔で行われた合宿で、初めて先生の自宅を訪れました。創部50周年の年、昭和61年（1986）10月に会津田島町にOB諸兄の協力で針生山荘が竣工しましたが、その山荘の天井に先生が書かれた字が残っています。

先生は平成3年（1991）に明治大学から中央商科短期大学長へと変わりました。先生は多芸で絵も描いていて、平成9年に絵の個展を銀座で開催すると案内状が届きました。会場に見に行きましたところ大勢の方が訪れていました。写実的な画風で明るい色調の作品でした。売約済みの絵もありました。平成10年11月にワンダーフォーゲル部の部室が移転する際に看板が必要となり、坂本先生に「書」をお願いしました。

平成13年4月下旬春の叙勲で坂本先生が勲三等を授章されました。そこで高野OB会長にすぐ連絡を取り「叙勲のお祝い」をワンダーフォーゲル部で開催したいと申し出て承諾を得ました。一緒に実行できるOBの方、昭和59年から平成3年の卒業生を中心に考え西OBに連絡をすると、彼も思いは同じでした。今回の受賞の件について先生に尋ねると、周りの人が優秀だから受賞したと話されました。謙虚で誠実な人柄にふれた思いでした。また、いつでも笑顔で接している印象がありました。平成13年6月23日にホテルグランドパレスにて大勢のOB諸兄が集まりました。その後、私は高尾山から陣馬山へよく歩い

ており、時折先生の自宅を訪れました。その折に、先生が青春時代の思い出を話されました。戦争の体験があり、命を掛けて戦って、無事に帰ることができたとのことでした。坂本ご夫妻は茶道の心得がありまして、相模



2001年6月坂本先生叙勲祝賀会

湖周辺の学生に教授していたと話していました。

明治大学ワンダーフォーゲル部を指導して頂き、また退任しても交流をしていただき、先生には大変お世話になりました。ありがとうございました。感謝でした。

二〇一八年 情断会スノーワンデリング 入笠山、北八ヶ岳（縞枯山・茶臼山）

BN 788 原田 博文

毎年恒例の情断会スノーワンデリング。今年は入笠山と北八ヶ岳の縞枯山、茶臼山に行ってきた。参加者はいつもの五人（小田野、高島、宮澤、小川、原田）。今年も好天に恵まれ、雪山を楽しんできた。

三月三日（土）

特急あずさの発車する新宿駅一〇番線ホームは、富士山を見に行くのであるう外国人観光客で混み合っていた。八時ちようどのあずさ二号ならぬ七時三〇分発のあずさ三号で出発。途中、八王子で小川が乗り込んで全員集合。

車窓からは雪化粧をした富士山、南アルプス、八ヶ岳等が見え気分は盛り上がる。二時間とちよつとの列車の旅で「富士見駅」に到着。スキー場の無料シャトルバスに乗り換えて富士見パノラマリゾートへ。満員の車内はほとんどが登山客のようだ。

約一〇分でスキー場に到着。まずはゴン

ドラの乗り場を目指す。このゴンドラはペット乗車可とのこと。ちなみに人間は往復一四五〇円（割引クーポン）に対しペットは五〇〇円であった。

山頂駅で身支度を整えていざ出発。小田野はアイゼン、他の四人はスノーシューだが小田野のアイゼンにトラブルが発生したため他の四人で先行する。

起伏の少ない林間の登山道を一〇分ほど歩くと入笠湿原に着く。ここで今度は小川のスノーシューにトラブルが発生。ビンディングが切れたらしい。何かと役に立つ汎用のストラップで応急修理をしている間に小田野が横を通り抜けたのだが、小田野は我々に全く気付いていない。そして小田野は頂上まで単独行となった。入笠山はゴンドラがペット可なだけあってやたらとワンコが多い。「犬は喜び庭かけまわり」ではないが、ワンコは我々以上に雪が好きなのである。

入笠湿原は保護のため、入口にはゲートがあり中は木道が整備されているが、木道は雪の下である。湿原を抜け、沢沿いの道を進むとマナスル山荘の前に出る。ここから右の尾根にとりつき、最後の急登を登れば入笠山の山頂である。小田野ともようやく合流できた。山頂からは八ヶ岳が目の前に見える他、北アルプス、中央アルプスがそれぞれ長い峰を連ね、南アルプスの中でも特に甲斐駒ヶ岳が間近に迫って見える。さらにその左手奥に富士山の秀麗な姿が際立つ。暖かいとはいえ風が



強いので、なるべく風の来ないところを探して昼食にする。

帰りは来た道を下るが、なるべくトレースを外して新雪の上を駆け下り、あつと言つ間に入笠湿原に到着。後はだらだらと登ってゴンドラ山頂駅に到着。お疲れ様でした。

スキー場の無料シャトルバス、中央本線、ホテルの無料シャトルバスと乗り継いで本日の宿「東急ハーヴェストクラブ蓼科」に到着。ゆつくりと温泉に浸かってから夕食は懐石料理。

翌朝はタクシーで北八ヶ岳ロープウェイ駅に移動。山麓駅は朝早くから大勢のスキー客

や登山者で賑わっていた。山頂駅で登山届を出し、いよいよ行動開始であるが、縞枯山を目指す登山者はほとんどいない。皆北横岳に行くのか？その分静かな山旅が期待できる。

三角屋根の縞枯山荘を過ぎると程なく雨池峠である。ここから縞枯山山頂までが本日の登りらしい登りとなる。北八ヶ岳の登山道特有の大きな袈裟や岩は雪の下で、夏道のコースタイムより早い時間で山頂に到着。山頂からの展望はないが、少し先の展望台からは北アルプス、中央アルプス、南アルプスそして南八ヶ岳の山々がきれいに見える。また北東方向には浅間山や草津白根の山々も見える。

縞枯山からはいったん鞍部に下りて茶臼山に登る。画では縞枯山との鞍部に戻り、五辻に下る予定だったが、順調に進みすぎていて時間も早いので大石峠に下って出逢いの辻経由で五辻まで行くことにする。展望のない茶臼山山頂はそのまま通過して大石峠に下る。大石峠から出逢いの辻まではトレースも少なく、思い思いにコースを取って歩いていく。出逢いの辻からはほとんどアップダウンのない道を五辻に向かう。五辻手前の東屋で大休止。ゆっくと昼食を取ってロープウェイの駅に着いたのは当初の予定通り。おみごと！

『母校愛』

BN 855 小泉 進

薄情な奴だと言われそうですが、明治を卒

業してこの方、あまり母校『メイジ』を意識する機会はありませんでした。

私は自営業を営んでいるもので、かなり以前、新人研修で新卒の営業マンが飛び込みで営業に来ました。その時手渡されたパンフレットの自己紹介に『出身、明治大学文学部（確か・）体育会スケート部（これも、だったと思う・）』とあり

私『えっ？明治なの？オレもだよ オレも体育会だったよ』なんて話をして、それに食いつく彼の営業魂に火をつけてしまった記憶があるくらいです。（投資絡みの営業だったので、結果彼の営業魂には負けませんでしたけどね）

そんな偶然くらいにしか母校名を口にする機会もなく過ごしていますが、今年の一月の大学ラグビー決勝。皆さんも興奮したと思います。グラウンドには行けずTV観戦でしたが、キックオフと同時に明治のチャンスには『よし、行け!! 行け!! 行け!!』と無意識、大げさに言えば本能的に拳を握りしめ絶叫している自分でした。ピンチ、失点の落胆はプレーしている後輩たちとまったく同じだったと思います。一点差の敗戦。何とも言えないこの悔しさ。この気持ち、皆さん分かってもらえますよね。

ゲーム終了後しばらくして、この悔しさ（本来は嬉しさであってほしい・）って世代を越えた現役の後輩たちを応援する無心の母校愛なのかなと思った次第でした。



昭和54年度卒同期会 in 熱海「笑の絶えない仲間たち！」

琵琶湖のサプライズ

BN 828 中野 吉長

今回、四月十四日、十五日の日程で、春の嵐が来るとの天気予報を尻目に、琵琶湖を巡ると言うコースで、53年度卒の8名プラスサプライズで1名で滋賀県大津に集まり、楽しい旅が出来たので報告します。メンバーは、坪田さん（長崎）藤木さん（長野）田中さん（埼玉）田住君（兵庫）遠藤君（愛知）宮崎君（京都）

そして私(三重)と妻(大阪)と、もう一人は、サブライズ(東京)の計9名です。私が12年前に、パーキンソン病になり、今も進行中なので同期には、なるべく早く会いたいと思っていたら、藤木さんが声を掛けて下さり、宮崎君が幹事になって、女子班プラス中部、関西のメンバーでミニ同期会が出来ました。が、この集まりは、他の同期会には、内緒にしてあるので、今回これを書くのは、少し戸惑いながらも、一度書いてみたらと、言った依頼もあったので、少しだけ書いてみます。そして53会の他の皆様には、この誌面をもって、お詫び申し上げます。

さて、サブライズの事です。東京から参加できないと言っていた、花寿しの大倉君でした。私を驚かせるつもりで鉦口令を敷き、私には黙って来たようですが、そこはいつもの事で、彼より一ヶ月だけ人生経験の長い事もあり、すぐに事のつまりを理解できたので、何のサブライズにもならなかった様です。(次回はまだもう少しワクワクさせてください)そして、このメンバーで昼食を食べに行くのですが、藤木さんがリザーブした場所までは、車で約1時間半もかかり、着いたのですが、店の料理の味や、雰囲気については、各々個人の意見が異なるので私の気持ちは控えるとしても、ワングルの合宿中の昼ご飯とそんなに変わらなかった様に思います。

心配していた春の嵐も「もう少しだけ待ってやるわ」と言う空模様で、今夜の宿、マ



関西ミニ三五会

キノグランドパークホテルに向かった。私にとって琵琶湖に来るのは2回目ですが、琵琶湖の大きさは、改めて驚きました。書くのを忘れていましたが、昼食前に博物館にも立ち寄り、宮崎君の案内で見学し、琵琶湖の生物や歴史などを学びました。話はドライブに戻って、湖畔の山あい咲き出した山桜と新芽の薄いみどりのコントラストが見事に写し出され、見とれていると、無事ホテルに着いた。

ホテルは、2階建ての落ち着いた雰囲気のある建物でアメニティーも充実しており、とても気に入りました。待望の夕食タイム。先づけからデザートまで、どれも美味しく最高のディナータイムであった。美味しい物を食

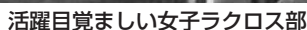
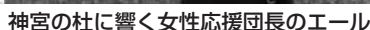
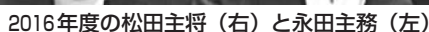
べると、話が盛り上がります。遠藤君は、明日、嵐の中でもゴルフをどうしてもしたいとの事で、朝食も食わずに7時にでっ発したいと言っています。ブローイラー君(失礼!彼の学生時代の愛称で、ブローイラーばかり食べていたので、この名前が付きましました)???君はいつも忙しいのだ。

夕食も終わり、二次会では、学生時代の事や、今、各々が直面している親の介護の事など、そして尽きる事のない田住君のいつもの講話等を聞きながら(田住と中野は学生時代とても仲が良かったという話で盛り上がった)夜は更けていき、翌朝、遠藤君を見送る為、男4名で握手を交わし、嵐の中でも言うとうゴルフのスコアが乱れる事を期待し、見送った。部屋に戻り、外を眺めていると、まだまだ熟女には程遠い女性3名が、まるで映画のワンシーンの様な姿で湖畔を歩いているのを見て、数年前の熟女の姿を彷彿させるものでした。

昼までに昨日集まった大津に戻り、琵琶湖を一周した形で、各々が、車と電車で帰路に着いた。皆に会えてホッとした気持ちと、もっと沢山話したい事があったのと言った寂しい気持ちで一杯であった。そして次の再会を誓い、握手を交わし「次は坪ちゃん(長崎へいくぞ)」と「よっしやいつでも来てね」と、別れました。このような機会を作ってくれたみんなに、感謝です。ありがとう!

BN
552
坂上
雅彦

先ず2016年(平成28年)の「ワンダーフォーゲル都」では、松田彩友美主将(東京都立国立高校出身・農学部農学科)、永田真帆主務(横浜雙葉高校出身・政経学部政治学科)。両メイン役職を女子が占めるのは創部以来初めてだそうです。因みに、初の女性主



それ以前の2014年（平成26年）には鈴木優花主務（埼玉県立春日部共栄高校出身・文学部史学地理学科）が居ました。この鈴木OGも凄いです。3年間勤務した職場を辞して世界一周ワンデリングを達成されています。

次ぎは2017年（平成29年）には「明治大学応援団」第96代目の団長として、新宅杏子団長（東京都立日比谷高校出身・政経学部政治学科）が登場しています。2017年春秋のリーグ戦での試合開始と終了時のエール交換において、歴史上初めての女子団長の声
が神宮球場に轟いていました。

これらに拍車をかける様に、「週刊ダイヤモンド」2017年9月16日号」の新聞広告で「MARCH」の頂点に立った明治の「女子力」と言うフレーズにもびっくりさせられました。「MARCH」とは「明治・青学・立教・中央・法政」の大学序列らしいです。その冊子には「女子の明治大学への入学者数増大」が掲載されています。

以上の様な「女子力」の現状下で「明治大学の男子はどうした？」と囁かれているのかも

「早慶上理・MARCH」最新序列
 私大の雄「早慶」は「慶大」へ学内序列も変貌中
 「MARCH」の頂点に立った明治の「女子力」

大学序列

「早慶上理・MARCH」最新序列
 私大の雄「早慶」は「慶大」へ学内序列も変貌中
 「MARCH」の頂点に立った明治の「女子力」

「開關同立」の波を各地で序列順し
 脱産学甲種へ「開關同立」早慶近「女子力」の本気

240名56校29部就職先ランキング
 入社率に倍々 最速・最新の受験対策

181 1122
 大学 学部

35年間の偏差値推移
 偏差値最大値・最小値・値幅

タイヤモンド
 タイヤモンド
 ビジネス英語 916

知れませんか！

ここで私の楽しみのラジオ番組を二つ紹介します。一つは、山脇学園高校出身・明治大学文学部演劇学専攻卒の堀口茉純の活躍です。女優・タレント・作家の彼女は江戸文化歴史検定1級に史上最年少の25歳で合格。その実績をもとにNHK第一ラジオで「歴史バラエティDJ日本史」番組にレギュラー出演しています。毎日曜16:04から50分間放送していて、お笑いともなねタレント松村邦洋とDJ川久保秀一の三人トークは面白いです。あと一つは、

これもNHK第一ラジオの『俳優・石丸謙二郎の山カフエ』です。毎土曜日09:05から50分間の放送は、山の話し満載番組です。もし関心があります。もし関心がありましたら、二つの番組の聴取をお薦めします。

最後に、恥ずかしながら我が家の「女子力」を紹介します。悔しいことに2011年6月に私は脳梗塞を患い、その後遺症



で左側の口と手足が若干の機能障害となつて今に至っています。そんな事でカミサンによる必要時の介助手伝い「女子力」の世話になっている次第です。この場を借りて全ての輝く「女子力」さまに大感謝の乾杯をしてペンを置きます。

「Mプレート」に断捨離を！

BN 351 渡邊 厚介

過日、久しぶりにMWV部誌(65号)を手にした。帰宅後拾い読みしたら、Mプレートなる字句が出て来て驚愕、あれは鈴木監督時代の蛮行で、内外の山岳関係者から中止、撤去を求められたが応じず、それを非としてO B会費の納入を休止し、ために除名措置を講じられても甘受すると主張し、長い間納入を拒んだ会員もいました(BN 342 渡辺陸氏)。彼は吉田修氏に諭されて、最後は数年遡って納付しましたが。

私自身、20年近く前から、佐久間輝夫(BN 370 7年有余前に鬼籍)、阿部瑛二(BN 367)の両君と大月市北西の雁ヶ腹摺山(1857m)に登った折、山頂にブリキ様のプレートにMWVの文字を認めて唖然とし、標識の心算だろうか、方角、キ口程の記入もなく、といてて視界も広い所で何を意図したのか判然とせず、三人で話した記憶あり。

後日、吉田修兄に会った折にその件をお尋ねしたところ、「未だ他にも周囲に有るのだ、

一緒に今度回収に行こう」と誘って頂きましたが、彼の健脚に圧倒されて辞退したことがあります。以後、二十年程経過しているでしょうか。かかる蛮行愚行を改めず、却って先輩の足跡として尊んでいるように推察される短慮を非難したい。あのプレートの取付を咎めず、むしろ道標の一種と見做しているように思われる。

100年程前の明大生が、房総半島の鋸山の巨大な岸壁の下部に自分の氏名と覚しきものを校名と共に彫っている。背の高さより上部だったと記憶しているが、あれを称賛するものは居るまい。私はあの地の人々に詫び、恥じ入る気持ちで家路についた思いがある。あれと大同小異と思うが、今度諸兄に賛同する人が居り、もしかまた目にしたら、回収撤去をお願いしたい！

異論が有れば紙上に開陳願いたい！

夫婦で百名山

BN 578 中村 泰治

私は女房と六年前、平成二十四年八月に南アルプスの光岳に登頂して夫婦で昇る百名山を達成しました。私が七十歳の時でした。

思えば昭和六十二年の夏に家族四人で北アルプスの槍ヶ岳に登って以来二十五年目でした。

ビギナーズラックの晴天に恵まれて女房は一気に山が気に入ったようです。その後十年

間、毎年広い北アルプスを一緒に歩き回ることになりました。更にテンションも上がり南アルプスも登るようになりました。ついには百名山までも挑戦してしまいました。

女房は健脚ではありません。従って山行はすべて二人歩きの自前の計画を作成しました。そのため山小屋やホテル、飛行機や列車の予約に大変苦労しました。

共働きの休暇をすり合わせながら少しずつ登りました。北海道の九山は五回に分けて、九州の五山は五月の五連休を利用して毎日一山づつ一気に登りました。

四国や東北の遠い所の山は飛行機や列車とレンタカーで登山口まで行きます。近い山は、マイカーで行きます。夜中に家を出て登山口



百名山達成！



地蔵岳（南アルプス）

まで行き、車中仮眠して登山を始めます。

下山後は近くの日帰り温泉で休息した後、道路の渋滞が収まった頃、現地を出て夜遅く帰宅します。同乗の女房が昼間の道路の景色を見たことがないとはやくことしきりでした。

テレビの百名山番組を見る度に自分達が登った時のことを思い出します。一步踏み出すのが大変な急登。強風雨の中、岩にしがみつかながらの登山。一方で晴天の頂上の景色の雄大さや、お花畑の美しさは忘れられませ

ん。

宿泊の山小屋では各地から来た人たちと山談義をする楽しい夜もたくさんありました。

子供をつれて剣岳の鎖場や白馬の不帰ノ剣を越えたり、黒部の水平歩道も歩きました。

秘湯の高天原では大自然の中で、仙人湯では満天の星空を仰いで露天風呂に入りました。

遠方の山行時には、観光の日を入れます。雨が代名詞の屋久島では四日間快晴に恵まれ、宮之浦岳ほか島内観光も楽しみました。

こうした中、明治のワングルと平成十一年秋、雲取山の三条ダルミで遭遇しました。嬉しかった。私の時代とは比較にならないくらい皆さんスマートで恰好良かった。三・四年合ワんで横手監督もいたようでした。

木曾駒登山では道を大幅に間違えて女房に『あんた本当に明大王ワングルのOBなの』とわが部の名誉を傷つけてしまいました。

百名山登山の中で一番印象に残ったのは九十六番目に登った北海道の幌尻岳です。増水で引き返した三年後、再度の挑戦で腰まで浸かる渡渉を二人で何とか渡り切った時の感激は今までの登山の中でも最高の喜びでした。

最近、資料を整理して紀行文を作成した。日本列島縦断の百名山には費用も時間も掛かりましたが、それ以上に達成感と色々な触れ合いから多くのものを得ることが出来ました。

— なため会湘南ワンデリング報告 —



木わい深い 大磯ワンデリング

BN888 関口 健二



う

まいねえ。湘南平で山田さん⁽⁴⁵⁾から振る舞われた「井上蒲鉾店のさつまあげ」が忘れられず、後日買い食いに行きました。大磯来たらやっぱりはんぺんとさつまあげ食べなきゃ。ワンカップと夏の太陽と潮風が「ぐち」のうま味を一層引き立ててくれます。

地元の飯田さん⁽⁸⁵⁾によれば「地元でも『お使いもの』でしか買えない高級品だそう、入ってびつくり『虎屋か?』笑。ショーケースを覗くが「バラ売り」は無し(そういう事か)。「一番安い」はんぺん2枚、さつまあげ5枚セットで九百二十円」の購入を悩んでいると隣りで地元の御婦人がパツと大きいのを3包み注文され、「領収書お願いします」(そういう事か)。「揚げたて」を1枚食べたくて訪ねたのだが、結局冷蔵庫から包みが出され、ちよつと残念。「いきなり『喰いモン』の話から始めるか?」、御尤も。でも土地土地の名物を食す事も「ワンデリングの醍醐味」ですから。

快

晴に恵まれ足取り軽く出発。道中ご近所さんとの挨拶に忙しい飯田さんのミニ案内を聞きながら旧東海道の松並木を抜け、高来神社へ。ナント宮司さんスタンバイでお払いを受ける。歴史&由緒あるお社なので、ちよつと由来をお尋ねすれば神主さんお喋りになる、お喋りになる。天照から蒙古襲来ときて、平成まで続きそうな勢いで話が止まらない。時間押せ押せ、幹事さん焦せ焦せ。

「今日は男坂で行くぞ!」とコースリーダー飯田さんから檄が飛ぶ中、高麗山、浅間山、湘南平に到着し山田さんと合流。先のさつま揚げと相模湾をおかずにランチタイム。展望台からは江ノ島、房総半島、大島、伊豆、丹沢、大山。残念ながら富士山はお預け。

途

中、校友の荒金さん宅に立ち寄り、素晴らしい庭を見ながら自家栽培自家製蜜柑ジュースをご馳走になる。大磯では毎年春に「自分の庭を一般開放する催し」があり、こちらも公開なさっています。「町起こし」として参考になりますが、大変な労力、時間、お金、情熱、愛情です。それにしても立派なお庭。お庭拝見のみならずここからは大磯観光のガイド役(NPO法人 大磯ガイド協会)としてご同行して頂きました。

① 安田善次郎別荘跡は関連会社の保養所

② 「西郷どん」に出てくる西郷従道の邸宅跡

③ 妙大寺にある「この地の潮水は病を治し、空気は保生の効あり」と唱えた



神奈川・丹沢湖畔

世附川ロッジ

都内から車や電車で約2時間

春…新緑、山菜採り

夏…川遊び

秋…紅葉狩

冬…星空観察(耐寒訓練)

100名収容 通年営業



炊事場



- 大型冷蔵庫完備(食材の保管に)
- 石窯でピザやパンが焼けます。
- 団体様にはキャンプファイヤー
キャンドルサービス、流し素麺も準備可
- シャワー、風呂で汗を流せます。
- 周囲に民家等が無くとても静か。
- 音楽演奏等ワイワイガヤガヤできます。
- 丹沢湖ではバス、ワカサギ釣できます。
- 不老山、檜洞丸、大室山等の登山基地に

- バンガローは6畳～8畳。
- BBQ場は大中小の中から選べます。
- 当ロッジは平成4年度農学部卒
BN.1106 前田裕司 が代表を務める
有限会社 丹沢で管理運営しています。
- ご予約の際は「なため会」の…と
お伝えください。

※連絡先 0465-78-3636 (担当: 志村)

詳しくは「世附川ロッジ」で検索してください。
公式 HP をご覧いただけます。



バンガロー
(10棟)



■夏合宿BCのご案内

今年の現役夏合宿は北陸で行います。ベースキャンプには左記の日程で入りますので、皆様のご来場をお待ちしています。ご希望の方は、8月上旬までにご連絡ください。

日時：9月7日(金)～9日(日)

場所：富山県上市町剣親(るぎおや)公園

連絡先：奥山 昂(主務)

〔電話〕080-25551-6839

※OBの方の宿泊先は上市町中部の民宿を予定しています。

■投稿募集のご案内

日頃で愛読いただき、誠にありがとうございます。薫風では幅広い世代の皆様から投稿を募集しています。

■テーマは問いません

山やワンデルングにまつわるお話などに囚われず、皆様の身近な話題や趣味のお話から、野球、ラグビー、駅伝といったスポーツなどへの思い入れなど、何でも構いませんので、どしどしご投稿願います。

■投稿のスタイルも問いません

紙面の都合がありますので、文章であれば原稿用紙3枚程度にまとめていただくと助かります。また、一部のページをカラー化していますので、例えばインスタグラムのような写真がメインとなるご投稿でも構いません。お写真に簡単なコメントを付けていただだけでも大歓迎です。で、よろしく願います。

■広告も募集しています

例えば地方在住で観光業に携わっている方や、通信販売でご商売をされている方からの広告なども掲載させていただきます。と存じます。

掲載スペースは1段、2段、3段(全段)の三種類で、お値段は1段：1万円、2段：1.5万円、3段：2万円です。

きちんとした原稿でなくても結構ですので、お気軽にご相談ください。

1 段 10,000円	
3 段 20,000円	2 段 15,000円

■応募先について

次号(第58号)掲載分

締切：●月●日(●)

送付先：巻末に記載の各編集委員または左記担当者

BN 879 井上稔也

住所：〒359-0047 所沢市花園2-2406-65

電話：070-54669-1521

メール：maromaro.maron8@gmail.com

※Faxでの送付をご希望の方は右記電話またはメールにご一報ください。ショートメールでもOKです。

■会員情報の連絡先のご案内

住所変更や慶弔事など、なため会々員の動静については、下記の総務部宛にメールまたはファックスで送信していただくか、あるいは直接担当者までご連絡願います。

総務部アドレス：soumu@natamekai.org

ファックス：03-55539-4245

小田野義之(775)

住所：〒343-0021 越谷市大林42-14

電話：090-2439-13463

メール：y88godano@docomo.ne.jp

■なため会運営委員の募集

なため会では会の運営に携わっていただける方(運営委員、各部会員)を募集しています。ご希望の方は幹事長までメールまたは携帯電話でご連絡ください。

幹事長 猪狩 稔(835)

電話：090-3903-7312

メール：n.igari@taiyukkai.co.jp



運営委員会の模様



参加者 (13名)

451 山田祥二 同夫人
 462 武松孝佳
 505 椎橋守弘
 530 磯崎守彦
 532 鈴木正道
 550 三宮道雄
 705 住田孔裕
 717 濱田孔一
 795 濱飯田修
 815 飯田司
 888 関健二
 897 山下志



松本順氏 (初代陸軍軍医総監) のお墓

4 島崎藤村邸。大正ガラスの引き戸と筋の通た丸木、いい仕事してますねえ

5 山縣有朋物件は大磯中学校に

6 大隈重信物件は古河電工

7 伊藤博文邸は西武プリンスホテル別館に变身しましたが、閉鎖中。石碑が残ります

8 その西隣は伊藤博文の腹心西園寺公望物件だったが「三井の大番頭」池田成形に譲渡

9 浜沿いの清水萬之助邸、伊達宗陳邸などの別荘は開発されマンションや住宅地に

10 吉田茂邸。まあ素晴らしいお庭だ事

別荘物件もいろいろですが、やっぱりガイドさんがいると風景が違って見えましたね。

さ て本日のワンデリングはここまで。反省会会場の魚辰本店で移動しますが、手前で雰囲気のある菓子舗発見。見上げれば「西行まんぢゅう・虎子まんぢゅう」の文字。新軒？おお、西行まんぢゅうだ。でも営業時間終了。最近、町のお菓子屋さん見るといつい入って食してしまうのはどうしてだろう、歳？

美味しい反省会もお開きとなり、大磯の夜は更けてゆく。さようなら、次は秋の鎌倉ワンデリングで会いましょう。

後 日、「食べ物ばかりじゃない」事をアピールするために嶋立庵を訪ねる。

心なき 身にもあわれは 知られけり 嶋立沢の 秋の夕ぐれ

新古今集の西行さんである。日本三大俳諧道場 (京都の落柿舎、滋賀の無名庵) の一つに立ち、「ここの一句」と四苦八苦するが出るのは汗ばかり。お後がよろしいようで。

葉山とかの観光ガイドはあるんだけど大磯って無いんだよね。不思議。でもその主たる観光資源の別荘も取り壊され再開が止まらない。そして丘陵緑地を皆でお金出し合って買い、「開発から守ろう」とする動きもある。変わるものもある。変わらぬものもある。考えさせられるワンデリングでした。



感謝 あの日から…。

3.11

BN.727 藤本 俊明
(岩手県上閉伊郡大槌町 在住)

7年目のご報告

あの日、あの時から7年が経ちました。
この季節になるとあの日のことを思い出します。

震災から1、2年は無我夢中でした。
気を強く持って、互いに励まし合いながら「絆」という言葉に支えられて乗り越えることができました。



3年目になると復興造成工事の遅れに不安と焦りが治まらない日々でした。

高台への住宅建設は平成27・28年ごろからです。区画整理地内の住宅建設は平成29年がピークでした。

地区の中心部には消防駐屯所、公民館が完成し、コンビニもオープンしました。

被災者のほとんどが住宅を建て、町並みも整えられてきました。



国道と防潮堤はあと2年かかります。
形に見える復興は、終了しつつありますがこれからが真の復興のスタートです。

人口減や高齢化などの直面する課題はありますが、希望を持って一步一步進んで行きたいと思います。

これまでのご支援に感謝し、皆様のご健勝をご祈念申し上げます。

三十八年ぶりの手白小屋

BN 865 高田 昌也

「OBで手白ワークに行っているんだけど、今度来ないか」

四月の鈴木善次郎元監督の墓参り後の酒席で、諏訪本監督からお誘いがあった。定年になり、休みも自由になれる囑託の立場。「行きます」とその場で、同期の平田と参加することを決めた。(その場には平田はいなかったが…)

六月一日午後、文句も言わずにつきあってくれた平田とともに、女夫淵(温泉旅館は跡形もなかった)に立った。朝早い集合には到底無理ということで本隊に数時間遅れのスタート。

まずはスーパール林道をテクテク。ニホンカモシカが崖の上からじっとこちらを見ている。さらにテクテク。おニユーのトレッキングシューズも快調だ。一時間も歩くと、手白沢橋到着。

ここからが本番。三十年以上、山道を歩いたことはない。現役時代のかすかな記憶をたどれば、明大新道は急登が小屋まで続いていた。しかし、新しい道ができていた。その名も「善道」。途中で、立派な木銘板がかかっていた。鈴木監督の「もっと歩きやすい道を」という遺言をOBや現役が実現したのだ。遺言どおり、「善道」は歩きやすい。急登続きではなく、途中からトラバースしつつ、なだ

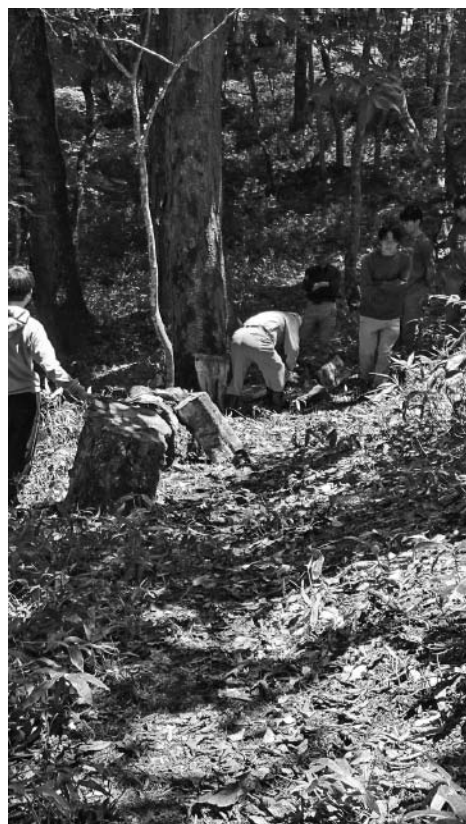
らかに登っていく。おかげで、そうバテもせず、小一時間で小屋に到着できた。

小屋は昭和五五年九月のリーダー養成を出迎えて以来、変わらず、堂々と木立の中に立っていた。(変わったのは二階のベランダがなくなり、薪小屋と発電小屋が新たに建てられていたぐらいか。トイレも洋式になっていた)「コンチハ」と入る。薪がはぜる音、煙の匂いが迎える。水場で顔を洗い、水を飲む。音、匂い、味。なにもかも三十八年前と変わらない。

OB諸氏と現役諸君にあいさつ。ストーブ前で、夕食前のだんらん。次々にブルトップが開けられる。現役諸君が担当した麻婆丼も天ぷらもうまい。コルク栓やスクリューキャップも回り始める。ストーブ前では歌が始まる。少しずつ思ひ出す。小屋の夜は更けていく。

二日目の夜はファイアー。夕方からコルク栓や紙バックが開いていく。今夜はすき焼き丼と天ぷら、その他いろいろ。現役の腕がいい。そして、歌唱指導となだれ込んでいく。

現役の諸君はほ



木漏れ日の中での薪割り

とんど山の歌を知らない。杉山裕先輩の指導で安曇節、なため。なため? 部歌じゃないか。「聴いたことはあるんですが、歌えません」と堂々と宣言する二年生にはちょっとびっくり。歌は得意の方ではないが、思わず小声で「なためぐらいは覚えておいた方がいいぞ」と言ってしまう。

ビンも紙バックも空になったが、火は燃え盛っている。ちょっと薪を組みすぎたか。みんなが引き上げたあと、じっとファイアーを見詰める。何も考えていない。何もしゃべらない。ただ時間が流れていく。卒業して三十七年という月日もただ流れていった。

飲んで歌って過ごしたわけではない。そもそも小屋に来たのはワークのため。二日目午前中は、小田野義之先輩をリーダーに植木進先輩、現役君と私の四人で手白沢温泉への



ねじを一心不乱に磨く筆者

ルート整備。崩れた道を迂回する新ルートを歩きやすいように杭を打ち階段状にしている。

午後は、薪割り、ねじ掃除。このねじ掃除とはさび付いたねじの再生だ。つまりねじのさびを落とし、使えるようにする作業。手白沢からの配水管に必要という。

さび落とし剤を吹き付け、くぎでねじ溝のさびを落とす。見かねた平田が平やすりを持ってきてくれる。おお、さびたねじがピカピカになっていくではないか。ねじ溝もくつきりしてきた。

「こんなねじなんかホームセンターに行けばいくらでもあるのに」という思いがあったのは確かだが、いまこの場では、このさびたねじしかない。「自分もやすりをかけ直して、あとしばらく働くか」などと思う。

三十八年ぶりの手白沢小屋は変わらずいてくれた。変わらなくていいこと、ありがたさ。それを維持してくれたOB諸氏、現役諸君の努力に感謝したい。

木馬道会

奥多摩ツアーのご報告

BN 614 石井 克太

さる6月7日、昭和42年度卒が主たるメンバーの木馬道会では、好天に恵まれた奥多摩で、御岳溪谷散策と豆腐ゆば懷石を堪能するミニツアーを行いました。

コースはJR御岳駅を起点に二つのプランを用意し、各人が好みや体調に合わせ参加する形式を取りました。

プランの最後は全員が隣の沢井駅にほど近い料亭「ままごと屋」に集合し、こだわりの製法で作られた豆腐とゆばのコース料理をたっぷり味わいました。コースと参加者は左記の通りです。

プラン②		プラン①	
参加者	コース	参加者	コース
雨宮 粕谷 田中 和田 岩崎 (半井)	JR御岳駅→バス・ケーブルカー ↓御岳山駅→武蔵御岳神社(往復) ↓ケーブルカー・バス→御岳駅・御岳溪谷遊歩道	石井 藤浦 小林 森川 (松尾)	JR御岳駅→玉堂美術館→御岳溪谷遊歩道→小澤酒造工場見学



平成29年度 卒業生 歓送迎会

■日 時 平成29年3月11日(日) 12時30分～15時00分 ■場 所 岸本・宮城ホール

■式次第 (敬称略)

12:30 開 会

部長先生挨拶

会長挨拶

監督挨拶

送 辞

答 辞

バックル授与

13:10 乾 杯

歓 談

13:40 卒業生より記念品贈呈

スライドショー

現役生より記念品贈呈

卒業生挨拶

なため斉唱

校歌斉唱

写真撮影

15:00 お開き

鈴木会長よりバックルを授与



■出席者：88名

●卒業生：16名 (出席14名 落合・村上欠席)

1313 福士 嶺	1314 落合 祐太	1315 茅野 真	1316 伊藤 嘉音	1317 二宮俊之輔	1318 乾 真規
1319 塚本 惇	1320 水本 ケン	1321 宮入 浩	1322 村上 彪馬	1323 荒木 清香	1324 森下 立基
1325 野神 宏太	1326 松井 遥奈	1327 山下 寛生	1328 山本 新大		

●なため会会員：35名

339 足立 康弘	351 渡邊 厚介	477 天野 俣明	489 野村 司	495 深田 裕弘	505 椎橋 稔
501 前田 芳弘	527 池田 陽一	532 鈴木 正彦	601 池上 勝彦	610 石田 正	661 大賀 徹雄
705 杉山 裕	717 住田 孔一	751 諏訪本充弘	764 高橋 壽子	775 小田野義之	788 原田 博文
817 和賀井英雄	835 猪狩 稔	838 龍 君江	871 平田 正博	879 井上 稔也	897 山下 仁志
915 日暮 浩美	1064 井上 堅一	1115 上原 誠	1174 尾崎 剛史	1282 諏訪部貴亮	1283 鈴木 優花
1305 永田 真帆	1306 由水 雅也	1309 近藤 諒生	1312 高橋辰之介	2120 鈴木 元典	

●現役：39名

4年 朝倉 慶	4年 今井 幹登	4年 大室 克磨	4年 奥山 昂	4年 平 将秀	4年 武内 真
4年 田中 雄大	4年 沼田 直也	4年 乗木 大朗	4年 林 薫平	4年 福澤 光浩	4年 藤井裕希恵
4年 守屋 雄貴	4年 森山 澤鵬	3年 青柳 晃太	3年 大原正太郎	3年 柿原 匡佑	3年 木皿京太郎
3年 岸 光ノ輔	3年 小島 桃李	3年 杉井 一毅	3年 高橋 和大	3年 林 亮太	3年 舟津 隼人
3年 北条 豪一	3年 星與 志也	2年 家子 貴暁	2年 伊藤 悠人	2年 梅澤 直希	2年 梅野 航
2年 岡田 茜	2年 尾島 佐和	2年 小野 剛志	2年 熊倉 智史	2年 桑原倫太郎	2年 小林 亮太
2年 齋藤 知彰	2年 杉本 雪乃	2年 手島 寛人			



平成30年度 なため会幹事会・会員総会

■日時 平成30年5月26日(土) 12時30分～15時00分

■場所 紫紺館4階パーティールーム

■式次第（敬称略）

12:30 幹事会 幹事長挨拶

一、審議事項

- | | |
|----------------------------------|----------|
| (一) 平成二十九年度事業報告
・原案通り承認されました。 | 猪狩幹事長報告 |
| (二) 平成二十九年度決算報告
・原案通り承認されました。 | 柳川財務部長報告 |
| (三) 平成二十九年度監査報告
・原案通り承認されました。 | 横尾監事報告 |
| (四) 平成三十年度組織変更案
・原案通り承認されました。 | 猪狩幹事長説明 |
| (五) 平成三十年度事業計画案
・原案通り承認されました。 | 猪狩幹事長説明 |
| (六) 平成三十年度予算案
・原案通り承認されました。 | 猪狩幹事長説明 |

二、報告事項

- | | |
|------------|---------|
| ・現役の活動状況報告 | 諏訪本監督報告 |
|------------|---------|

13:00 総会
会長挨拶
幹事会報告
乾杯
歓談
部歌斉唱
校歌斉唱
写真撮影
お開き

15:00

■出席者（会員：31名 現役：7名）

299 大内 善一	339 足立 康弘	345 吉田 修
392 内田 吉成	393 植木 正子	395 中山 光史
398 小林 伸行	451 山田 祥二	455 飯村 朋園
501 前田 芳弘	505 椎橋 稔	527 池田 陽一
532 鈴木 正彦	558 奥倉 勇一	661 大賀 徹雄
683 横手 一男	705 杉山 裕	714 南出 進
717 住田 孔一	728 横尾 廣志	751 諏訪本充弘
763 内藤 勝子	764 高橋 壽子	788 原田 博文
792 柳川 俊泰	795 濱田 稔	835 猪狩 稔
879 井上 稔也	897 山下 仁志	1006 安倍 好洋
1115 上原 誠	4年 奥山 昂	4年 平 将秀
4年 福澤 光浩	4年 森山 澤鵬	3年 木皿京太郎
3年 杉井 一毅	1年 柴丸 貴	



福澤主将によるエール



なため会 組織 (平成30年4月～平成31年3月)

会 員 総 会

幹 事 会

■顧問	田村 敏夫(800)	新田 功(1100)		
■部長	長峰 章(1000)			
■相談役	新村 貞男(181)	小林 碧(197)	島林 順三(228)	篠崎 徳量(241)
	大内 善一(299)	西村 幸一(313)	足立 康弘(339)	吉田 修(345)
	内田 吉成(392)	紀伊辰之助(423)	天野 俣明(477)	

運 営 委 員 会

■役 員	会 長	鈴木 正彦(532)		
	副会長	奥倉 勇一(558)	大賀 徹雄(661)	
	幹事長	猪狩 稔(835)		
	副幹事長	日暮 浩美(915)		
	監 事	池田 陽一(527)	横尾 廣志(728)	
	駿台体育会理事	諏訪本充弘(751)	和賀井英雄(817)	
	参 与	奥倉 勇一(558)	横手 一男(683)	濱田 稔(795)
	監 督	諏訪本充弘(751)		
	コーチ	井上 堅一(1064)	浜口小百合(1273)	諏訪部貴亮(1282)
		前川 晃慶(1296)	由水 雅也(1306)	
■部 会	総務部	(部長) 小田野義之(775)	(副) 原田 博文(788)	谷 浩明(909)
		日暮 浩美(915)		
	財務部	(部長) 柳川 俊泰(792)	(副) 上原 誠(1115)	
	広報推進部	(部長) 井上 稔也(879)	(副) 住田 孔一(717)	(副) 加藤 章一(845)
		鈴木 康弘(487)	一色 雅男(570)	池上 勝彦(601)
		石井 克太(614)		
	企画振興部	(部長) 濱田 稔(795)	(副) 丸山 貞二(859)	龍 君江(838)
		平田 正博(871)	山下 仁志(897)	井上 堅一(1064)
	山小屋管理部	(部長) 杉山 裕(705)	(副) 植木 進(846)	山口 直樹(1017)
	事業運営部	(部長) 安部 好洋(1006)	(副) 猪狩 稔(835)	
■運営委員	前田 芳弘(501)	石井 克太(614)	野島 一雄(676)	龍 君江(838)
	平田 正博(871)	山下 仁志(897)	谷 浩明(909)	中村 央(1156)

上記以外の幹事

退 任 者					
BNO	氏 名	異動内容	BNO	氏 名	異動内容
850	唐川 拓三	山小屋管理部退任	1196	中村 宏之	運営委員退任 (転勤のため)
858	遠山 高広	運営委員退任	1226	杉山 文啓	コーチ退任
974	松井 法一	総務部・運営委員退任			

平成29年度 なため会決算報告 (自29.4.1 至30.3.31) 財 務 部

1. 会計報告

●一般会計

収入の部	予 算 額	決 算 額
前年度繰越金	5,369,773	5,369,773
なため会費	1,650,000	1,611,000
利息収入	2,000	16,939
諸収入	95,000	186,360
合 計	7,116,773	7,184,072

支出の部

【活動費】

〈総務部〉

会議案内通信費	50,000	72,133
薫風運送費	160,000	170,754
慶弔費	30,000	52,960
事務用品費	30,000	25,184
名刺作成費	5,000	5,300
明大スポーツ新聞購入費	5,000	0
住所不明調査費	5,000	0

〈財務部〉

会費集金手数料	45,000	44,760
振り込み手数料	10,000	8,255

〈広報推進部〉

薫風制作費	280,000	267,300
薫風制作通信費	10,000	2,040
ホームページ維持管理費	10,000	10,800
プロバイダー更新費	10,000	4,795
資料編集費	10,000	0
ホームページ改定費	50,000	0

〈企画振興部〉

マネージ交通費	20,000	0
---------	--------	---

〈山小屋管理部〉

奥鬼怒山荘ワーク参加者補助費	70,000	63,094
----------------	--------	--------

〈事業運営部〉

会場使用料	102,600	81,540
会場利用通信費	5,000	0
会員納入推進費	100,000	0

【補助費】

懇親会現役参加補助費	96,000	90,000
------------	--------	--------

【渉外費】

〈駿台体育会費〉

駿台体育会活動費	115,000	105,216
駿台体育会カレンダー購入費	62,000	50,000

〈歓送迎会運営費〉

卒業生会費	112,000	78,000
現役会費補助費	180,000	114,000
会場使用料	52,000	51,300
吊り看板代	11,000	0

【その他費用】

〈周年行事費〉

会員名簿制作費	250,000	306,720
---------	---------	---------

【予備費】

	100,000	0
--	---------	---

支出合計	1,985,600	1,604,151
------	-----------	-----------

収支差額	5,131,173	5,579,921
------	-----------	-----------

会費内訳

年会費	3,000	3,000
-----	-------	-------

口 数	550	537
-----	-----	-----

合 計	1,650,000	1,611,000
-----	-----------	-----------

次年度繰越金	5,369,773	5,579,921
--------	-----------	-----------

なため会基金	4,831,000	4,831,000
--------	-----------	-----------

次年度会費	933,090	1,157,970
-------	---------	-----------

総 資 産	11,133,863	11,568,891
-------	------------	------------

●なため会総資産

通常貯金	2,718,928	(ゆうちょ銀行)
普通預金	171,993	(三菱東京UFJ)
定額貯金	7,631,000	(ゆうちょ銀行)
振替貯金	1,046,970	(ゆうちょ銀行)
現 金	0	
合 計	11,568,891	

上記の通り報告致します。 財務部 柳川俊泰 (792)
上原 誠 (1115)

2. 監査報告

平成29年度決算報告を監査した結果、その適正なことを確認しましたので、報告いたします。

監 事 池田陽一 (527) 横尾廣志 (728)

平成29年度事業報告

1 重点目標

- 1 会員サービスの向上
- 2 会費納入の強化
- 3 運営委員の増員

2 活動報告

- 1 H29・4・11(火) 運営委員会 (体育記念室)
- 2 H29・4・25(火) 駿台体育会第1回理事会 (アカデミーコモン)
- 3 H29・4・27(木) 2016年度会計監査 (体育記念室)
- 4 H29・5・9(火) 運営委員会 (体育記念室)
- 5 H29・5・20(土) 第61回なため会W (箱根古道)
- 6 H29・5・28(日) 幹事会・会員総会 (アカデミーコモン)
- 7 H29・6・2(金)～4(日)
奥鬼怒山荘ワークワンデルング
- 8 H29・6・13(火) 運営委員会 (体育記念室)
- 9 H29・6・21(水) 駿台体育会総会 (リバティタワー)
- 10 H29・7・11(火) 運営委員会 (体育記念室)
- 11 H29・7・22(土) 薫風55号発送 (体育記念室)
- 12 H29・8・26(土) 第62回なため会W (高尾山)
- 13 H29・9・13(火) 運営委員会 (アカデミーコモン)
- 14 H29・10・2(月) 駿台体育会親善ゴルフ大会
(鎌ヶ谷カントリークラブ)
- 15 H29・10・3(火) 駿台体育会第2回理事会 (大学会館6F)
- 16 H29・10・11(火) 運営委員会 (体育記念室)
- 17 H29・10・28(土)～29(日)
第63回なため会W (丹沢湖畔)
- 18 H29・11・14(火) 運営委員会 (体育記念室)
- 19 H29・12・6(水) 大学役職者と駿台体育会との懇親会
(リバティタワー)
- 20 H29・12・16(土) 幹事会・忘年会 (リバティタワー)
- 21 H29・12・29(木)～31(土)
奥鬼怒山荘ワークワンデルング
- 22 H30・1・12(火) 運営委員会 (体育記念室)
- 23 H30・1・27(土) 薫風56号及び新刊会員名簿発送
(体育会記念室)
- 24 H30・1・27(土)～28(日)
駿台体育会と体育会監督会との
合同研修会
- 25 H30・2・3(土) 第64回なため会W (奥武蔵)
- 26 H30・2・13(火) 運営委員会 (体育記念室)
- 27 H30・3・11(日) 平成29年度卒業生歓送迎会
(リバティタワー)
- 28 H30・3・13(火) 運営委員会 (体育記念室)

平成30年度 なため会予算 (自30.4.1 至31.3.31) 事業運営部

1. 一般会計

収入の部		
前年度繰越金	5,579,921	
なため会費	1,650,000	550名×3,000
利息収入	0	
諸収入	50,000	
合 計	7,279,921	

支出の部

【MWV支援費】		
〈MWV活動補助費〉	200,000	
〈駿台体育会カレンダー購入費〉	50,000	合宿協力者・関係先への御礼用 長峰部長先生退官 2019/3/31付
〈長峰先生に感謝する会〉		
会場使用料	52,000	
現役会費補助費	240,000	60名×4,000 学生負担3,000
吊看板代	11,000	
花束代	10,000	
予備費	100,000	
〈歓送迎会運営費〉		
卒業生会費	98,000	14名×7,000
現役会費補助費	240,000	60名×4,000 学生負担3,000
会場使用料	52,000	
吊看板代	11,000	
〈懇親会参加補助費〉	49,000	会員総会 4年生 14名×7,000×1/2
【なため会活動費】		
〈総務部〉		
会議案内通信費	70,000	
薫風運送費	170,000	
慶弔費	50,000	
事務用品費	2,000	
名刺作成費	5,000	
明大スポーツ新聞購入費	5,000	
住所不明調査費	5,000	
〈財務部〉		
会費集金手数料	45,000	
振り込み手数料	10,000	
〈広報推進部〉		
薫風制作費	280,000	4頁カラー45,000×2、 20頁(95,000円)×2 部内郵送代・封筒代
薫風制作通信費	5,000	
ホームページ維持管理費	10,000	
プロバイダー更新費	0	ドメイン2018/3/14~2021/3/31
史料編纂費	10,000	年表・部誌デジタル化調査費
ホームページ改定費	50,000	ホームページリニューアル
〈山小屋管理部〉		
奥鬼怒山荘ワーク参加者補助費	70,000	
〈事業運営部〉		
会場使用料	49,000	幹事会総会(紫紺館)
吊看板代	11,000	
通信運搬費	3,000	
【駿台体育会費】		
駿台体育会分担金	50,000	一億円基金他事業費 2万→5万
駿台体育会理事活動費	95,000	総会懇親会、体育会懇親会、 合同研修会他
【会費増収推進費】	100,000	会費増収全般に関わる費用
【周年行事費】		
会員名簿作成費	0	
【予備費】	100,000	
【親睦会予備費】	140,360	親睦会余剰金を新年度以降の親睦会で活用
支出合計	2,448,360	
収支差額	4,831,561	
次年度繰越金	4,831,561	
なため会基金	4,831,000	
総 資 産	9,662,561	

2. なため会基金

薫風家・鈴木家・柴田家寄付金	1,083,000
山小屋募金他	3,257,000
校友会館(紫紺館)建設基金	491,000
	4,831,000

平成30年度事業計画

1. 重点目標

会員サービスの向上

会費納入の強化

運営委員の増員

2. 活動計画

- 4月10日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 4月24日(火) 駿台体育会第1回理事会(7ア*ミ*コン)
- 4月25日(木) 2017年度会計監査(体育記念室)
- 5月8日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 5月19日(土) 第65回なため会W(湘南)
- 5月26日(土) 幹事会・会員総会(紫紺館)
- 6月1~3日 奥鬼怒山荘ワークワンデルング
- 6月12日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 6月20日(水) 駿台体育会総会(リバティタワー)
- 7月10日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 7月21日(土) 薫風57号発送(体育記念室)
- 7月28~29日 第66回なため会W(秋田)
- 9月11日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 10月2日(火) 駿台体育会第2回理事会
(大学体育会館3F)
- 10月9日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 10月20日(土) 第67回なため会W(鎌倉)
- 10月29日(月) 駿台体育会親善ゴルフ大会
(久能カントリー倶楽部)
- 11月13日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 12月2日(日) 早明ラグビー観戦(秩父宮ラグビー場)
- 12月5日(水) 大学役職者と駿台体育会
との懇親会(リバティタワー)
- 12月15日(土) 長峰章部長先生に感謝する会 ※1
(リバティタワー)
- 12月29~31日 奥鬼怒山荘ワークワンデルング
- 1月8日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 1月26日(土) 薫風58号発送(体育記念室)
- 1月26~27日 駿台体育会と体育会監督会との
合同研修会(箱根湯本ホテルおかだ)
- 2月2日(土) 第68回なため会W(富士山周辺)
- 2月12日(火) 運営委員会(体育記念室)
- 2月23日(土) 平成30年度卒業生歓送迎会 ※2
(リバティタワー)
- 3月12日(火) 運営委員会(体育記念室)

※1 開催日時・会場は大学行事により変動
平成30年度の忘年回は開催しない

※2 開催日時・会場は大学行事により変動

暑中御見舞申し上げます。



昭和 39 年度卒業 山久会

計 報

BN 344 立木 久三OBが平成30年1月22日
にご逝去されました。
BN 622 石井 健OBが平成30年2月28日
にご逝去されました。
ここに謹んでお悔やみ申し上げます。

「編集後記」

BN 845 加藤 章一
還暦も過ぎたので、土日ではなく平日の同期
会にしたところ、参加者も増え、熱海でのん
びり開催。一杯飲みながら現役時代の写真を
持ち寄りスライドにして映写会。ワンデルン
グや先輩・後輩の昔話（悪口？）で大盛り上
がりでした。

毎回聞いた話で、落ちもわかつているのに
同じところで大笑い、何度聞いて今では楽し
い思い出ばかりです。先輩曰く、古典落語を
聞いているようなものらしいです。（歌丸師
匠のご冥福をお祈りいたします）

薫風の記事で仲間の近況を知ることが、思
い出と交差して思いを馳せさせます。皆さん
の近況投稿をお待ちしています。たまにはイ
ベントにも参加して元気なお顔を見せに来て
ください。皆さん変わっていませんよ（笑）

発行日 平成三十年七月

編集

鈴木康弘 一色雅男 池上勝彦
石井克太 住田孔一 猪狩 稔
加藤章一 井上稔也 日暮浩美

発行者

明治大学体育会
ワンダーフォーゲル部なため会

印刷所

三協印刷株式会社